



さわら通信

SAWARA KOUSEIEN QUARTERLY MAGAZINE

VOL.1

2021.08 SUMMER

発行：障がい者支援施設 早良厚生園



さわら通信

社会福祉法人悲田院

早良厚生園

福岡市早良区大字重留29-17
TEL092-804-7251

【障がい者支援施設】

- ・施設入所支援
- ・生活介護事業
- ・自立訓練事業(生活訓練)
- ・就労継続支援B型事業
- ・短期入所事業
- ・日中一時支援事業
- ・特定相談支援事業あらひら

【共同生活援助】

- ・第一田隈ホーム
- ・こすもすホーム
- ・ゆめホーム

四箇厚生園

福岡市早良区四箇5-4-30
TEL092-812-6985

【障がい者支援施設】

- ・生活介護事業
- ・施設入所支援事業
- ・短期入所事業空床型
- ・日中一時支援事業
- ・特定相談支援事業しかご

白糸農園

福岡県糸島市長野1541-3
TEL092-323-4711

【障がい者支援施設】

- ・施設入所支援事業
- ・短期入所事業空床型
- ・生活介護事業
- ・自立訓練事業(生活訓練)
- ・就労継続支援B型事業

【共同生活援助】

- ・日明ホーム(日明)(駅前)
- ・老松ホーム
- ・さくら

大地の恵み

福岡県糸島市長野1540-2
TEL092-332-7898

- ・就労継続支援B型事業

Sun Sun

糸島市前原中央2-6-20
TEL092-321-1433

- ・就労継続支援A型事業
- ・就労継続支援B型事業



Message 理事長からのメッセージ



福祉の生産性について

理事長 佐藤 元治

新型コロナのワクチン接種がようやく始まったといえ、1年あまり続くコロナ禍の中、悲田院は新年度を迎えました。

新年度の計画では、年間の経営収益が、活動の自粛、自制が続くにも拘わらず、10億円に達する見込みです。全国2万社ある社会福祉法人の中でも、相当な規模となります。これこそ、白糸農園を開園して以来43年、先達から続く努力の賜物です。

今後とも、自律的で、安定した経営を続けていくためには収益拡大を図るとともに、効率的な施設運営が、そして福祉サービスであっても、生産性の向上が必要です。

一般的には生産性とは、投入した生産材に対して、いかに効率よく成果を上げる事を言います。実際、企業は生産性を向上させるため、材料投入から製品完成引き渡しに至

るまでの業務について、常に改善に取り組んでいます。福祉の生産性についても、私たち悲田院は、利用者の生活を支えるという大きな使命を負っており、常に、福祉サービスの質の向上を目指しております。そのため、サービスの担い手である職員の育成を念頭に、当年度は、職場環境の整備、適材適所の人員配置、作業分析シフトの見直し、利用者情報の共有化の業務改善に取り組めます。内外の福祉研修会への出席、OJTの充実により、職員一人一人がスキルアップを図り、生活介護、就労支援のプロフェッショナルとしての自覚、障がい者支援施設に働くものとしてのモチベーションの向上に繋がるものと考えています。



Message 施設長からのメッセージ

季刊誌の発刊に寄せて

施設長 栢田 充生

早い『梅雨入り』から早い『梅雨明け』、昔の様なジメジメ、シトシトの『梅雨』が懐かしいのは、私だけでしょうか。今年も線状降水帯がもたらす災害が起きてしまいました。被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

さて、早良厚生園の『さわら通信』につきましては、毎月発刊をしまいましたが、内容の充実や広く早良厚生園の事を知って頂きたく、年3回の発刊誌として、新たに取り組む事にしました。季刊誌の内容につきましては、職員ともども充実したものにしていきたいと考えており、私も季節ごとの荒平山麓の風景をお届けできればと思っております。

新型コロナウイルス感染拡大から早くも1年と半年、利用者の皆さん職員ともども、「施設にコロナウイルスを持ちこ

まない」を合言葉に生活してきました。お陰様で新型コロナウイルスの発症者は今のところ出ていません。ワクチン接種につきましても、8月5日に利用者様のワクチン接種が終了し、職員含めて、ワクチン接種が終了しました。早く元の生活に戻れることを祈っています。

これからは、猛暑とどう付き合っていくのか、コロナウイルスの感染防止と合わせて、熱中症にも注意を払いながらの生活が続きます。体調を崩しやすい季節ですので、お体ご自愛ください。

REPORT from SECTION

施設入所支援・生活介護

落ち着いた空間

利用者さま一人ひとりが楽しく生活を送ることが出来、『早良厚生園で過ごしたい!』といただけたら、ぬくもりのある空間作りに焦点を置いています。利用者さまの健康・安全を第一に考え、ご高齢の利用者さまが増えている中で、機能維持や認知症予防の活動を積極的に行っています。

季節に応じた様々な行事や笑顔になれる活動を通じ、「QOLの向上」を職員全体で考え、利用者さまが『ただ生活する場所では無く、より良く生活する場所』を常に意識を持って支援に取り組んでいます。

荒平山麓に位置し、朝は鳥の声で目を覚ますような緑が沢山、空が広い環境で元気に楽しく過ごして頂いています。



REPORT from SECTION

就労継続支援B型

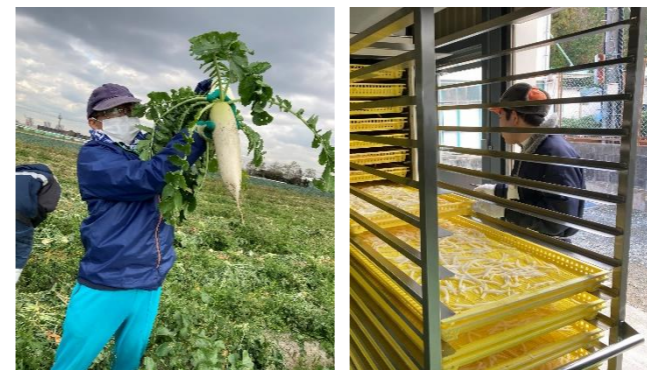
誰もが輝ける就労へ

作業を通じ、社会参加をしてもらう事によって地域生活での利用者さまの『いきがい』を見つけて頂ければと思ひ支援を行っています。

福岡市内の学校給食でも使用されている切干大根を一から作り、種まきから収穫、加工、皮むき、袋詰め、販売活動や玉ねぎドレッシングの加工、内職作業、売店作業など、利用者さま一人ひとりに適した作業環境、作業方法を提供し、一人ひとりが輝ける支援を行っています。

現在はコロナ禍で実施出来ていませんが、利用者さまが頑張る貯めた工賃を使い、希望者は年に2回の旅行に行っています。

選択制の旅行もあり、ディズニーランドやUSJなどの遊園地もあれば、ゆっくり過ごしたい利用者さまには温泉旅行や沖縄への旅行も計画しております。



REPORT from SECTION

自立訓練(生活訓練)



レベルアップの2年間

地域生活に目を向け、生活能力の向上などの支援が必要な方を対象として、2年間という限られた期間で支援を行っています。

ご本人の未来に向け、どのようなサービスが必要であるかを考え、様々な経験を積んで頂けるように支援を行っています。

REPORT from SECTION

共同生活援助(グループホーム)



自分たちで作る生活

グループホームでは、単に入所施設を小さくしたものではなく、地域社会の中で『自分たちの生活は自分で作る』という意欲を育む支援を行っています。

共同生活のルールもスタッフを交えた会議で決定するなどして利用者さま主体のホーム運営を実施しています。

EVENT 2 七夕会

7月、蒸し暑い日がつづくこの時期。体が暑さに慣れていない為、熱中症対策を行いながら日々のお仕事を頑張っています。

今年は夏大根を生育中！大根収穫や切干大根の製造、販売を楽しみにしています。

さて、7月のイベントと言えば「七夕」。今年も就労継続支援B型では、短冊にお願い事を書いて笹の葉に飾りました。「野菜が育ちますように」「旅行に行きたい。」「みんなが健康に過ごせますように」等、利用者様の沢山の願いが詰まった七夕会となりました。

どうか…皆さんの願いが叶いますように！！



EVENT

早良厚生園で実施したイベントや研修の報告をいたします!!



EVENT 1 職員交流会

施設入所支援(生活介護)では4月26日(月)に新任職員、異動職員と利用者様との交流を深めていただく交流会を行いました。

「ようこそ！早良厚生園へ！」をテーマに、新しく仲間入りした職員へ、利用者様が1人ずつプロフィールカードを渡されたり、「出身はどこですか？」など質問をされたり楽しく交流が出来た1日となりました。利用者さまに早良厚生園で楽しく過ごしていただけるよう、今後もチーム一丸となって支援をさせていただきます。



03

EVENT 3

お花見会



本日はグループホームの皆さん全員集合で福岡市西部運動公園へ花見遠足に行きました。出発時には雨も上がり、徐々に天気は回復し、気分も上昇！時期としては少し遅めで桜も散り始めて少し残念でしたが、コロナ感染対策等により日頃、我慢して頂く事が多い中、ストレス発散できたのではないのでしょうか！皆さん笑顔で終わらわいわいとおしゃべりも絶えず、充実した楽しい一日だった様です。また今後も地域生活における休日の余暇支援として行事を催し、毎日の活気に繋げたいと思います。

EVENT 4

自立訓練(生活訓練)開始式



4月24日(土)に自立訓練の開始式を行いました。

今年度は、生の松原特別支援学校を卒業したばかりの利用者さまが1名、自立訓練を利用されています。

開始式の準備には就労継続支援B型の利用者さまや、コロナ禍で直接関わり合う事が難しくなった入所の利用者様も花紙作りに協力してくれたり、早良厚生園全体の気持ちもこもった式になったのではないかと思います。

今後も楽しい思い出を沢山作りましょうね！

04

医務報告

暑くなり熱中症が心配な時期になりました。
現在行っている熱中症対策をお知らせします。

熱中症予防×コロナ感染防止で「新しい生活様式」を健康に！

連日暑い日が続いていますがマスクの着用によって熱中症のリスクも高まります。マスクを着けていると皮膚からの熱が逃げにくくなり、気付かないうちに脱水になるなど体温調整がしづらくなってしまいます。

- ★人との距離が十分な距離(2m以上)がとれる野外ではマスクを外しましょう
- ★マスク着用中には激しい運動は避けましょう
- ★喉が渇いていなくても小まめに水分補給をしましょう
- ★気温・湿度が高い時には特に気をつけましょう

新しい生活様式で今年の夏も健康に過ごしましょう！



地域散歩

普段、早良厚生園で利用している飲食店や、お店を紹介いたします。



ワッキー主基の里

ワッキー主基の里は100人余りの生産者(農家)で運営されている直売所です。
脇山と言えお米が有名な地区ですが、お米の他にも地元で早朝採れた野菜も安価で販売されています！他にも加工品も販売されており、早良厚生園の切干大根も置いてあり、ご好評いただいています！
また、直売所だからこそできる、新鮮な野菜と美味しいお米を使った弁当はとても人気で、利用者さまも行事の際は利用しています。

福岡市早良区大字脇山592-1 TEL 092-803-2182

新入社員

新入社員のご紹介

今年度より早良厚生園に入社したスタッフの紹介です



山下 智弘 (やました ともひろ)
前職は、全くの異業種で勤めていました。初めての業種ですが、利用者様の笑顔の為、真摯に支援に取り組んで行きますので宜しくお願いします。



益田 海祐 (ますた かいゆう)
3月から入社しました。以前も障がい者の入所施設に勤務していました。そこでの経験を活かして利用者の方の支援にあたり、皆さんと楽しく過ごしていきたいと思っています。



石橋 栄一朗 (いしばし えいしろう)
以前は身体障がい者施設で務めていました。就労継続支援B型での勤務は初めてですが、利用者様のお仕事をしっかりとサポート出来ればと思います。よろしくお願いたします。



中山 慧美 (なかやま さとみ)
前職は病院でソーシャルワーカーをしていました。働き始めて約1か月ですが、日々、利用者様の笑顔を近くで見られることが、とても嬉しいです。これからも明るく元気に、精一杯頑張ります！よろしくお願致します。

異動職員

異動職員のご紹介

四箇厚生園より2名が異動になりました。2人とも早良厚生園は4年ぶりになります。



和田 成章
【異動元】
四箇厚生園 支援課長
↓
【異動先】
早良厚生園 支援課長



藤井 剛
【異動元】
四箇厚生園 係長
↓
【異動先】
早良厚生園 係長

販売品のご紹介



早良の切干大根！ ¥118
就労継続支援B型の利用者さまが作る切干大根は、真っ白で甘みたっぷり！福岡市内の小中学校の給食でも利用されています。是非ご賞味ください♪



玉ねぎドレッシング！ ¥500 (数量限定)
四箇厚生園で栽培された玉ねぎとヤマタカ醤油のコラボ商品！ドレッシングとしてだけでなく、ステーキにもおすすめの万能ドレッシングです♪

寄贈・寄付

2021年1月～(順不同)
天田様・中嶋様・本田様・大熊様・保護者会様 より
寄贈・寄付を頂きました。有難う御座います。

苦情受付

苦情はありませんでした。